



2020年11月18日

幕別町議会議長 寺林俊幸様

陳情者 原水爆禁止幕別協議会代表

小林 正明

住所 幕別町緑町5番地1

「北海道での放射性廃棄物の最終処分場建設に反対する決議」を求める陳情書

「高レベル放射性廃棄物(核のごみ)」の処分地選定に関わって、寿都町は10月9日、原子力発電環境整備機構 (NUMO) に文献調査を応募しました。神恵内村も同日、文献調査の実施について国からの申し入れを受諾しました。

両町村の受け入れ検討表明に、全道各地の自治体や漁業・観光業団体から不安と反対の声が急速に広がっており、羊蹄山麓7町村長会議は一致して応募に反対、寿都町に隣接する蘭越町、黒松内町、島牧村の町村長も、寿都町の片岡町長に直接申し入れを行い、八雲町など道南4町も、応募に反対の要望書を提出しています。全道世論調査(10/28付「道新」)では、文献調査実施に「反対」が66%に上っています。

また、鈴木直道北海道知事は、「1か月程度で判断するのは拙速だ」との見解を表明し、札幌市長も「北海道における特定放射性廃棄物に関する条例において、『特定放射性廃棄物の持ち込みは慎重に対処すべきであり、受け入れがたいことを宣言』しており、道内の自治体は順守する責務がある」と述べています。

住民の不安や懸念が高まる根本には、放射性廃棄物の処分方法に科学的な合意がないまま、国が「地層処分」をすすめるようとしている問題があります。地下300mより深い地下に埋める「地層処分」を行うとしていますが、住民からも、地質学者・地震学者・技術者など専門家からも、複数の巨大プレートがある地震多発国の日本において、核廃棄物を10万年間も安全に保管できるのか、との懸念が上がっています。

10万年も放射能を出し続け、処分方法も確立していない放射性廃棄物処分場が北海道に設置されることにより、風評被害が発生し、北海道の基幹産業である農畜産物や水産業は大きなダメージを受け、農業を基幹産業として発展してきた十勝・幕別町も甚大な影響が及ぶことが懸念されます。

よって、貴議会に置かれましては、下記の事項において決議されますよう陳情いたします。

記

1. 北海道への放射性廃棄物の最終処分場建設の受け入れに、幕別町議会として反対の決議をあげていただきたい。

以上

「北海道での放射性廃棄物の最終処分場建設に反対する決議」(案)

「高レベル放射性廃棄物(核のごみ)」の処分地選定に関わって、寿都町は10月9日、原子力発電環境整備機構(NUMO)に文献調査を応募しました。神恵内村も同日、文献調査の実施について国からの申し入れを受諾しました。

両町村の受け入れ検討表明に、全道各地の自治体や漁業・観光業団体から不安と反対の声が急速に広がっており、羊蹄山麓7町村長会議は一致して応募に反対、寿都町に隣接する蘭越町、黒松内町、島牧村の町村長も、寿都町の片岡町長に直接申し入れを行い、八雲町など道南4町も、応募に反対の要望書を提出しています。全道世論調査(10/28付「道新」)では、文献調査実施に「反対」が66%に上っています。

また、鈴木直道北海道知事は、「1か月程度で判断するのは拙速だ」との見解を表明し、札幌市長も「北海道における特定放射性廃棄物に関する条例において、『特定放射性廃棄物の持ち込みは慎重に対処すべきであり、受け入れがたいことを宣言』しており、道内の自治体は順守する責務がある」と述べています。

住民の不安や懸念が高まる根本には、放射性廃棄物の処分方法に科学的な合意がないまま、国が「地層処分」をすすめるようとしている問題があります。地下300mより深い地下に埋める「地層処分」を行うとしていますが、住民からも、地質学者・地震学者・技術者など専門家からも、複数の巨大プレートがある地震多発国の日本において、核廃棄物を10万年間も安全に保管できるのか、との懸念が上がっています。

10万年も放射能を出し続け、処分方法も確立していない放射性廃棄物処分場が北海道に設置されることにより、風評被害が発生し、北海道の基幹産業である農畜産物や水産業は大きなダメージを受け、農業を基幹産業として発展してきた十勝・幕別町も甚大な影響が及ぶことが懸念されます。

よって、幕別町は、「北海道における特定放射性廃棄物に関する条例」を遵守し、北海道への放射性廃棄物の最終処分場建設の受け入れに反対することを決議します。

2020年 月 日

幕別町議会